

南湖にて夜歌者を聞く

朱彝尊

輕舟暗に渡る古城の東

惆悵す霜天に塞鴻の落つ

誰か夜深に向かつて水調歌

傷心は管絃の終るを待たず

【作者】朱彝尊（一六二九〜一七〇九年）・中国清代の詞人・学者。字あざなは錫鬯（しやくちよう）、号は竹垞（ちくた）。明史の編纂に加わる。詞壇では王士禛と並称され、浙派の代表。著「経義考」「曝書亭集」「日下旧聞」など。

【備考】『南湖』中国の吉林省長春ちようしゆん市の南西に広がる、森と湖が美しい広大な自然公園。面積は二二二ヘクタールもあり、そのうち三割近くを湖が占めている。春夏はボート遊びや水泳、冬はスケートを満喫でき、一年を通じて市民の憩いの場となっている。湖には橋で結ばれた浮島があり、園内には南湖賓館や長春解放記念館などもあって、情緒あふれる美しい景観が広がる。（出典 講談社「世界の観光地名がわかる事典について」）